

第2学年 保健体育科 保健分野

1. 学習のねらい

学習のねらい	<p>○個人生活における健康・安全に関して、科学的に理解する。</p> <p>○生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>
使用教材	教科書：保健体育（大修館）

2. 評価の観点および方法

	評価の観点	評価の方法
健康・安全への関心・意欲・態度	保健に関心を持ち、意欲的に学習することができる。仲間の考えや意見を聞いたり、資料を活用したりして、意見や質問を積極的に発表することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（態度、行動、発言、質問、意見など）
健康・安全についての思考	自分の日常生活を振り返り、問題点を見つけることができ、学習したことを生活にいかすことができる。自分の経験や資料を活用して、自分の考えを持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子（発表、意見、質問など） ・定期テスト
健康・安全についての知識・理解	健康と環境のかかわり、傷害の発生原因と予防・応急処置について理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・学習プリントの内容 ・授業の様子（発表、質問、意見など）

3. 年間計画

各単元と主な内容		観点別評価の具体例
通 年	健康と環境	関① 保健に関心を持って意欲的に学習する。 関② 健康と環境について資料を見たり、自分の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとする。 関③ 健康と環境について、教科書などの資料から課題を解決するための情報を集めたり、課題について調べたりする。 関④ 健康と環境について、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自分の考えや意見を発表する。 思① 健康と環境について、自分の日常生活等を振り返り、問題点を見つける。 思② 健康と環境について、自分の経験や資料などをもとに、自分で予想したり、整理したりする。 思③ 健康と環境について、学習したことを日常生活に当てはめる。 知① 人間の健康は環境と深くかかわって成立しており、身体には環境に対する適応能力があることを知る。 知② 人間の生命の維持や健康に密接にかかわりのある空気・飲料水の条件について知る。 知③ 心身の健康を保持増進するため、生活に伴って生じる廃棄物を適切に処理し、環境を衛生的に保つ必要があることを知る。
	傷害の防止	関① 保健に関心を持って意欲的に学習する。 関② 傷害の防止について、資料を見て、自分の日常生活を振り返りながら課題を発見しようとする。 関③ 傷害の防止について、教科書などの資料を読み、課題について調べたり、応急手当の実習に取り組んだりする。 関④ 傷害の防止について、仲間の考えや意見を聞いたり、集めた資料を活用したりして、自分の考えや意見を発表する。 思① 傷害の防止について、自分の日常生活等を振り返り、問題点を見つける。 思② 傷害の防止について、自分の経験や資料などをもとに、自分で予想したり、整理したりする。 思③ 傷害の防止について、学習したことを日常生活に当てはめる。 知① 自然災害や交通事故などによる傷害の発生要因や防止対策について知る。 知② 応急手当の意義と方法について知る。

4. 学習方法についてのアドバイス

学 校	教科書や資料などを参考にして、積極的に意見を発表しよう。 疑問に思ったことを質問しよう。 授業中、大切なポイントはメモをとり、定期テスト前には見直そう。 先生の話だけでなく、友だちの発表をしっかりと聞こう。
家 庭	保健分野に関係するテレビ番組を見たり、新聞などを読んだりしよう。 学習したことを生活に生かし、健康的な生活を送ろう。